

福島県オリジナル水稲品種



H2601

天のつぶ

穂が出るときに天に向かってまっすぐ伸びる力強さと
天の恵みを受けて豊かに実る一粒一粒が特徴です。



H2601

問い合わせ

福島県水田畑作課 TEL.024-521-7360
又は各農林事務所(農業振興普及部・農業普及所)
種子はJA又は米集荷業者にご注文ください。

電源立地地域対策交付金事業



育成経過

「天のつぶ」は、平成7年に、福島県農業試験場（現福島県農業総合センター）において、栽培しやすく、玄米品質が良好な良食味品種を目指し育成を始め、15年の歳月をかけ完成した県のオリジナル品種です。

「天のつぶ」の系譜図



「天のつぶ」の育成経過

平成7年：母「奥羽357号」×父「越南159号」を交配
 平成10年：「郡系322」の系統番号を付与
 平成12年：「福島9号」の地方番号を付与
 平成13~17年：水稻奨励品種決定基本調査で試験栽培を実施
 平成18~21年：水稻有望系統現地適応性試験で試験を行い、育成を完了
 平成22年：県の奨励品種に決定、名称を「天のつぶ」に決定



品種特性

倒れない、いもち病に強い、収量・品質が良い

稈長が「ひとめぼれ」や「コシヒカリ」より短く倒れにくい品種です。

出穂期(穂が出る時期)は、「ひとめぼれ」より2日程度遅く、「コシヒカリ」より5日程度早い品種です。

いもち病(穂いもち)に強く、栽培しやすい品種です。

品 種 名	天のつぶ	ひとめぼれ	コシヒカリ
早 晩 性	中生晩	中生	中生晩
出 穂 期 (月日)	8月10日	8月8日	8月15日
成 熟 期 (月日)	9月24日	9月21日	10月2日
稈 長 (cm)	72	84	92
穂 長 (cm)	17.4	18.0	17.4
穂 数 (本/m ²)	458	510	425
倒 伏 (0~5)	0	1.8	2.4
耐 倒 伏 性	強	やや弱	やや弱
稈 の 剛 柔	やや剛	中	中
穂 発 芽 性	難	難	難
障 害 型 耐 冷 性	やや強	極強	極強
いもち遺伝子型	<i>Pia, Pii</i>	<i>Pii</i>	<i>+</i>
葉 い も ち	やや弱	やや弱	弱
穂 い も ち	強	やや弱	弱
収量・標肥(kg/a)	62.4	61.9	57.7
玄米千粒重(g)	22.8	22.4	21.5



▲左から「天のつぶ」、
「ひとめぼれ」、「コシヒカリ」

※ 調査地：福島県農業総合センター ※ 調査年次：1999~2003年、2008~2009年



普及地帯、作付面積及び生産量の推移

普及地帯は標高300m以下(障害型冷害を避けるため)です。

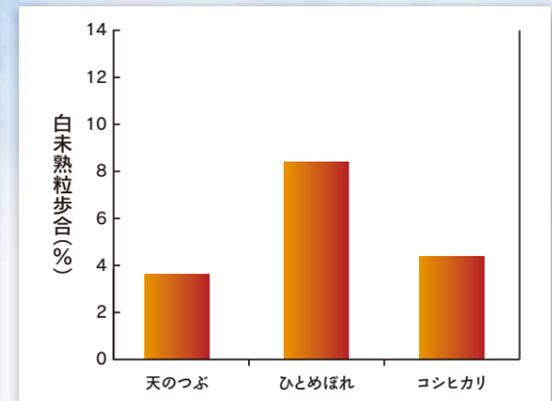
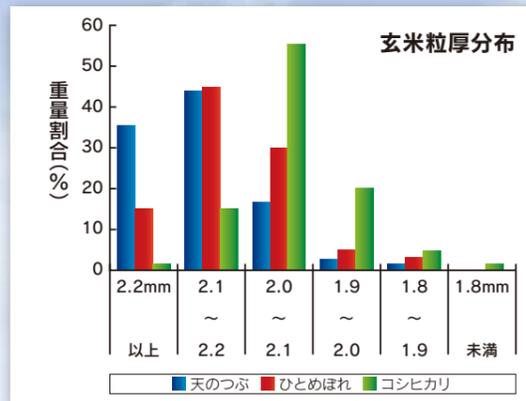
平成24年度の作付面積は、749haで、生産量は4,000tを見込んでいます。

年 次		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
作付面積 (ha)	計画	—	60	800	2,000
	実績	0.9	39	749	
生産量 (t)	計画	—	300	4,000	12,000
	実績	5	211		



収量及び玄米品質

粒張りが「ひとめぼれ」や「コシヒカリ」より大きく、収量は「コシヒカリ」よりも優ります。また、玄米品質は、等級低下の原因となる白未熟粒の発生が少なく、「ひとめぼれ」「コシヒカリ」と比べても良好です。

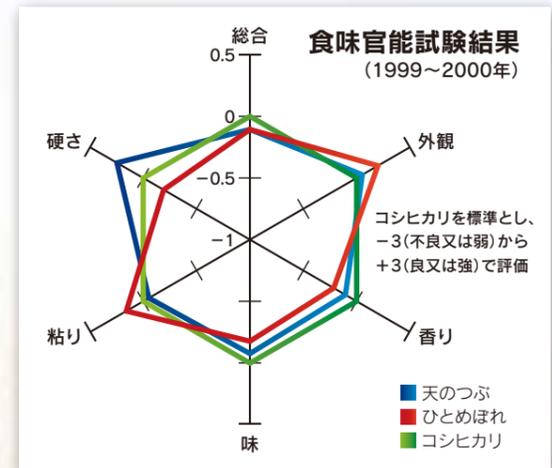


食味

コシヒカリ・ひとめぼれに匹敵する美味しさ

「天のつぶ」はしっかりとした食感で粘りもあり、「ひとめぼれ」「コシヒカリ」と同等の良食味です。

お米マイスターによる食味評価では、食感がしっかりしており、比較品種と同等以上の良い評価を得ています。

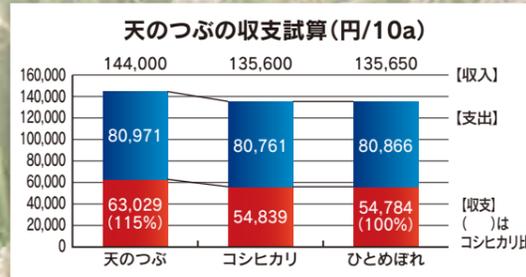


お米マイスターによる「天のつぶ」の食味評価(2009年)			
比較品種に対する評価(件数)			その他コメント(件数)
やや優る	同 等	やや劣る	食感がしっかりしており若者向け
4	3	1	3

注) 県内、県産米を扱う首都圏のお米マイスター米穀店及び食味鑑定士11人へのアンケート結果。
比較品種は、当該米穀店が扱う県産「コシヒカリ」(5店)、「ひとめぼれ」(2店)、「チヨコシキ」(1店)。



収益性



「天のつぶ」の収量が高いことから、「コシヒカリ」「ひとめぼれ」よりも高い収益が期待できます。(多肥栽培にすると、青未熟粒の発生が多くなるので注意が必要)

福島県農業経営指標をもとに試算

- ▼ 収量は「コシヒカリ」540kg、「天のつぶ」600kg
「ひとめぼれ」570kgで積算
- ▼ 価格は、中通りの平成24年産米JA概算金を参考に積算

の特 徴